



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2607 URL <https://www.fujioilholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 酒井 幹夫
 問合せ先責任者 (役職名) 連結グループリーダー (氏名) 永山 勝博 TEL 06-6459-0731
 四半期報告書提出予定日 2021年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け電話会議）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	98,679	19.4	4,118	△3.4	3,744	△1.6	3,535	25.1
2021年3月期第1四半期	82,667	△12.9	4,265	6.1	3,805	8.1	2,826	△15.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 8,813百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 698百万円 (△81.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	41.13	—
2021年3月期第1四半期	32.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	364,038	169,421	45.8	1,937.71
2021年3月期	358,511	162,890	44.6	1,861.67

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 166,560百万円 2021年3月期 160,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	190,000	10.1	7,000	△4.6	6,300	△7.8	4,500	4.2	52.35
通期	400,000	9.7	18,000	0.5	16,800	△4.4	11,500	4.4	133.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	87,569,383株	2021年3月期	87,569,383株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,612,196株	2021年3月期	1,612,196株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	85,957,187株	2021年3月期1Q	85,957,514株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」を参照下さい。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較分析をしております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症のワクチンの普及が進む一方で、国や地域によってはロックダウンなどの対応策が再び実施されるなど、世界経済の回復は地域や業種などによって緩やかな状況となっております。また、パームや大豆などの原料価格につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限に伴う労働者不足の問題や、経済活動の再開に伴う需要の回復期待、代替エネルギーとしての需要の高まりなどにもより、昨年と比べ高い水準で推移しています。

日本におきましては、緊急事態措置等の発令があるものの、企業業績や家計動向の改善により、景況感の持ち直しが見られました。米国におきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチンの普及に伴い、雇用の改善は緩やかなものの景況感の改善が進みました。ブラジルにおきましては、新型コロナウイルス感染症の感染者数は引き続き高水準で推移いたしました。需要は底堅く推移し、為替についても前連結会計年度末と比べ、リアル高で推移しました。東南アジアにおきましては、新型コロナウイルス感染症の感染者数の増加を受けた再ロックダウンによる経済への影響が出てきております。中国に関しては、景況感の回復が進み、需要も安定的に推移しております。欧州については、新型コロナウイルス感染症のワクチンの普及に伴い、経済活動の平常化に向けた取り組みが進んでおり、堅調な需要が続いております。

当連結会計年度は、前連結会計年度までの中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」(2017-2020)で未達であった施策の再取り組みおよび、翌年度から始まる新中期経営計画に向けた重要な期間であるという認識とともに、グループ一丸となって企業価値向上の取り組みを進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、以下のとおりとなりました。

なお、対前年同期比で親会社株主に帰属する四半期純利益が増加している主な要因は、当第1四半期連結累計期間に計上したシンガポールにおける固定資産売却益及びブラジルにおける還付税金の特別利益によるものです。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2022年3月期 第1四半期連結累計期間	98,679	4,118	3,744	3,535
2021年3月期 第1四半期連結累計期間	82,667	4,265	3,805	2,826
前年同期比 増減 (前年同期比 増減率)	+16,011 (+19.4%)	△147 (△3.4%)	△61 (△1.6%)	+708 (+25.1%)

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期比 増減	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 増減	前年同期比 (%)
植物性油脂	29,037	+6,721	+30.1%	2,069	+236	+12.9%
業務用チョコレート	41,668	+6,327	+17.9%	1,134	△854	△43.0%
乳化・発酵素材	18,953	+2,322	+14.0%	664	+577	+665.7%
大豆加工素材	9,019	+639	+7.6%	1,120	△130	△10.4%
連結消去・グループ管理費用	—	—	—	△870	+23	—
合計	98,679	+16,011	+19.4%	4,118	△147	△3.4%

(植物性油脂事業)

売上高は、新型コロナウイルスの影響からの回復による販売数量の回復に加え、主原料であるパームなどの価格が上昇したことにより大幅な増収となりました。利益面では、欧米での販売数量の増加などにより増益となりました。

(業務用チョコレート事業)

売上高は、販売数量の回復などにより大幅な増収となりました。利益面では、販売数量の回復による増益効果はあったものの、前年同期に計上したBlommer Chocolate Companyの先物益の剥落により減益となりました。

(乳化・発酵素材事業)

売上高は、国内連結子会社の連結除外に伴う売上高減少の影響はありましたが、販売数量の回復により増収となりました。営業利益は、東南アジアの原材料高や工場統合による費用などの影響はあったものの、日本での販売数量の回復や中国での販売数量の伸長により、増益となりました。

(大豆加工素材事業)

売上高は、大豆たん白素材などの堅調な販売に加え、前第2四半期連結会計期間に稼働を開始した千葉工場の寄与により、増収となりました。利益面では、増収効果はあったものの、千葉工場や欧州新工場建設に伴う費用先行や中国での販売減少などにより、減益となりました。

なお、前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について、重要な変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ55億27百万円増加し、3,640億38百万円となりました。引き続き、運転資本の圧縮やノンコア資産の売却等によりバランスシートを圧縮することおよびグループファイナンスの高度化により、財務体質を向上させ、経営の効率化を進めてまいります。

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期 第1四半期	増減
資産	流動資産	160,736	159,715	△1,021
	有形固定資産	129,435	131,491	2,055
	無形固定資産	52,712	54,860	2,148
	その他資産	15,626	17,971	2,345
		358,511	364,038	5,527
負債	有利子負債	131,309	133,452	2,142
	その他負債	64,311	61,164	△3,146
		195,621	194,617	△1,004
純資産	162,890	169,421	6,531	

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、配当金の支払いや法人税等の納付により、現金及び預金が減少しております。また、前連結会計年度末(2021年3月31日)に比べ、米ドルやレアル等に対して円安となったことや、工場新設や既存設備の更新等の投資を実施したことで有形固定資産が増加しております。以上の結果、前連結会計年度末に比べ55億27百万円増加し、3,640億38百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、運転資本の増加に伴う有利子負債の増加はあったものの、日本における法人税等の納付により、前連結会計年度末に比べ10億4百万円減少し、1,946億17百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、円安基調における為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ65億31百万円増加し、1,694億21百万円となりました。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ76円04銭増加し、1,937円71銭となりました。自己資本比率は前連結会計年度末比1.2ポイント増加し、45.8%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当社グループは、財務規律を維持・向上するためには有利子負債の削減が求められ、着実な利益成長とCCCの改善により、フリー・キャッシュ・フローを毎年100億円以上創出する必要があると認識しております。そのため、設備投資の抑制、非中核事業のEXITおよび政策保有株式の更なる削減等により、キャッシュ・フローをコントロールしております。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2021年3月期 第1四半期累計期間	2022年3月期 第1四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,992	3,158	△3,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,826	△4,517	+308
フリー・キャッシュ・フロー	2,166	△1,359	△3,525
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,412	△859	△2,272
現金及び現金同等物	22,501	18,550	△3,951

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、31億58百万円の収入となりました。前第1四半期連結累計期間に比べ、運転資本の増減を主要因として、38億34百万円減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、アメリカにおける植物性油脂事業の新規拠点建設、ドイツにおける欧米市場向けの機能剤事業の新規拠点建設の設備投資等により、45億17百万円の支出となりました。当第1四半期連結累計期間における有形固定資産の売却収入により、前第1四半期連結累計期間に比べ、3億8百万円支出が減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

前第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いはあるものの、コロナ禍における不測の事態への対応として、手元流動性の確保を目的に、外部借入を増加させたことで14億12百万円の収入となりましたが、当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加はあったものの、配当金の支払いにより、8億59百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月11日発表の第2四半期累計期間および通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化に応じ、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,463	18,560
受取手形及び売掛金	65,954	64,583
商品及び製品	31,832	33,844
原材料及び貯蔵品	36,960	38,213
その他	5,746	4,748
貸倒引当金	△221	△235
流動資産合計	160,736	159,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,468	37,353
機械装置及び運搬具(純額)	49,472	49,903
土地	17,719	17,900
建設仮勘定	17,810	19,634
その他(純額)	6,963	6,699
有形固定資産合計	129,435	131,491
無形固定資産		
のれん	25,590	26,675
顧客関連資産	16,046	16,652
その他	11,075	11,532
無形固定資産合計	52,712	54,860
投資その他の資産		
投資有価証券	7,411	7,456
退職給付に係る資産	4,670	4,884
繰延税金資産	642	644
その他	2,778	4,878
貸倒引当金	△61	△61
投資その他の資産合計	15,441	17,801
固定資産合計	197,589	204,152
繰延資産		
社債発行費	185	170
繰延資産合計	185	170
資産合計	358,511	364,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,222	25,094
短期借入金	36,965	37,312
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	2,608	1,521
賞与引当金	2,140	3,192
役員賞与引当金	87	1
その他	10,993	10,958
流動負債合計	91,017	88,080
固定負債		
社債	45,000	45,000
長期借入金	39,344	41,140
繰延税金負債	13,510	13,911
退職給付に係る負債	1,958	1,960
その他	4,790	4,524
固定負債合計	104,604	106,537
負債合計	195,621	194,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	11,945	11,945
利益剰余金	152,675	153,945
自己株式	△1,968	△1,968
株主資本合計	175,860	177,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,810	1,803
繰延ヘッジ損益	483	235
為替換算調整勘定	△18,150	△12,658
退職給付に係る調整累計額	20	49
その他の包括利益累計額合計	△15,837	△10,570
非支配株主持分	2,866	2,860
純資産合計	162,890	169,421
負債純資産合計	358,511	364,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	82,667	98,679
売上原価	66,445	82,112
売上総利益	16,222	16,566
販売費及び一般管理費	11,956	12,448
営業利益	4,265	4,118
営業外収益		
受取利息	47	293
受取配当金	44	40
デリバティブ評価益	117	6
その他	67	149
営業外収益合計	275	490
営業外費用		
支払利息	416	231
為替差損	73	373
持分法による投資損失	7	16
その他	237	243
営業外費用合計	735	864
経常利益	3,805	3,744
特別利益		
固定資産売却益	1	735
投資有価証券売却益	65	—
還付税金	—	744
特別利益合計	67	1,480
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	44	111
関係会社株式評価損	103	—
特別損失合計	148	112
税金等調整前四半期純利益	3,723	5,111
法人税、住民税及び事業税	489	1,528
法人税等調整額	425	37
法人税等合計	914	1,565
四半期純利益	2,809	3,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	△17	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,826	3,535

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	2,809	3,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232	△6
繰延ヘッジ損益	△52	△247
為替換算調整勘定	△2,307	5,411
退職給付に係る調整額	26	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	81
その他の包括利益合計	△2,110	5,267
四半期包括利益	698	8,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516	8,802
非支配株主に係る四半期包括利益	182	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,723	5,111
減価償却費	3,560	3,654
のれん償却額	525	532
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△173	△214
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	53	33
受取利息及び受取配当金	△91	△334
支払利息	416	231
持分法による投資損益(△は益)	7	16
投資有価証券売却損益(△は益)	△65	—
固定資産処分損益(△は益)	43	△623
関係会社株式評価損	103	—
売上債権の増減額(△は増加)	8,505	1,803
棚卸資産の増減額(△は増加)	△710	△1,708
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,668	△3,663
その他	392	710
小計	9,623	5,549
利息及び配当金の受取額	90	79
利息の支払額	△514	△157
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,207	△2,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,992	3,158
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,580	△4,837
有形固定資産の売却による収入	1	742
無形固定資産の取得による支出	△299	△420
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	85	—
その他	△30	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,826	△4,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,306	347
長期借入れによる収入	4,304	1,870
長期借入金の返済による支出	△2,429	△671
配当金の支払額	△2,492	△2,237
非支配株主への配当金の支払額	△19	△25
その他	△256	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,412	△859
現金及び現金同等物に係る換算差額	344	315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,922	△1,902
現金及び現金同等物の期首残高	18,578	20,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,501	18,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、以下の5ステップアプローチに基づき、顧客への約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

ステップ1: 顧客との契約を識別する。

ステップ2: 契約における履行義務を識別する。

ステップ3: 取引価格を算定する。

ステップ4: 契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5: 履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(1) 物品販売に係る収益認識

当社グループでは、主に植物性油脂や業務用チョコレート、乳化・発酵素材、大豆加工素材等の販売を行っており、このような物品販売は、物品を引渡した時点において、顧客が当該物品に対する支配を獲得することにより、当社グループの履行義務が充足され、上記収益認識の要件を満たすこととなります。

従来、国内の一部のグループ会社による国内での物品販売からの収益は、物品を工場又は倉庫より出荷した時点で収益を認識しておりましたが、顧客に物品を引き渡した時点において収益を認識することといたしました。

(2) 変動対価が含まれる取引に係る収益認識(リベート取引)

国内の一部のグループ会社による国内での物品販売に係る収益のうち、一部の取引高リベート並びに目標達成リベートについて、従来は、販売費及び一般管理費として費用計上しておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

(3) 原料有償支給取引に係る収益認識

国内の一部のグループ会社における原料有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が217百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ4百万円減少しております。また利益剰余金の当期首残高は39百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる、当第1四半期連結累計期間に係る財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(取締役に対する株式報酬制度)

当社は、2020年6月18日開催の第92回定時株主総会決議に基づき、当社取締役（社外取締役を除く。）を対象に、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度を導入しました。

本制度にかかる会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

(1)取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役に對して交付されるという株式報酬制度です。また、本制度においては、2021年3月31日で終了する事業年度から2023年3月31日で終了する事業年度までの3事業年度の間在任する当社取締役に對して当社株式が交付されます。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

(2)信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度343百万円、118千株、当第1四半期連結会計期間343百万円、118千株です。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は植物性油脂製品、業務用チョコレート製品、乳化・発酵素材製品及び大豆加工素材製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「植物性油脂事業」、「業務用チョコレート事業」、「乳化・発酵素材事業」及び「大豆加工素材事業」の4つを報告セグメントとしております。

「植物性油脂事業」はパーム油及びパーム核油等を基礎原料とした食用加工油脂、食用油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「業務用チョコレート事業」はチョコレート、コンパウンド及びココア製品を製造販売しております。「乳化・発酵素材事業」はクリーム、マーガリン及びフィリング等を製造販売しております。

「大豆加工素材事業」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び水溶性大豆多糖類等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	植物性油脂	業務用 チョコレート	乳化・発酵 素材	大豆加工 素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,037	41,668	18,953	9,019	98,679	—	98,679
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,027	457	1,092	32	5,609	△5,609	—
計	33,065	42,126	20,045	9,051	104,289	△5,609	98,679
セグメント利益	2,069	1,134	664	1,120	4,988	△870	4,118

(注) 1. セグメント利益の調整額△870百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用870百万円が含まれております。全社費用は、提出会社及び一部のエリア統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「大豆加工素材」に含まれていた豆乳及びUSS豆乳製品事業の製造販売について、経営上の管理区分の見直しを行ったことにより、「乳化・発酵素材」に含めて表示する方法に変更しております。

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結会計期間の「植物性油脂」、「業務用チョコレート」、「乳化・発酵素材」、「大豆加工素材」の外部顧客への売上高がそれぞれ189百万円、2百万円、10百万円、15百万円減少しております。また、セグメント利益が「植物性油脂」は3百万円増加、「業務用チョコレート」、「乳化・発酵素材」及び「大豆加工素材」はそれぞれ0百万円、2百万円、4百万円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

不二製油グループ本社（株） 決算補足資料

2021年度（2022年3月期）

- 第1四半期 -

ページ	項目
1	表紙
2	0-1 : 注記 / 為替情報
3	1-1 : 2021年度 連結決算実績 1Q
4	1-2 : 2021年度 連結業績 (1Q/事業別・所在地別マトリクス)
5	2-1 : 主な指標
6	3-1 : 2021年度 連結業績予想

0-1 : 注記 / 為替情報

注記情報

・2019年度 決算期変更の実施

2019年度は、海外グループ会社（ブラマー、豪州IFSを除く）の決算期変更の為、15ヶ月の変則決算となっております。
そのため、一部資料では調整した数値を記載しております。

・一部製品のセグメントの変更による遡及修正

2021年度より、一部製品を大豆加工素材セグメントから乳化・発酵素材セグメントへ組み替えています。
その為、2020年度及び2019年度の数値を参考値として遡及修正して表示しています。

主な為替レート

・P/L：期中平均レート、B/S：期末レート

		2020年度	2020年度	2021年度	対前年同期		2021年度 計画前提
		1Q	期末	1Q	差	増減率	
\$	P/L	107.62	106.06	109.49	+1.87	+1.7%	106.50
	B/S	107.74	110.71	110.58	▲ 0.13	▲ 0.1%	-
BRL	P/L	20.00	19.62	20.72	+0.72	+3.6%	19.70
	B/S	19.68	19.44	22.11	+2.67	+13.7%	-
€	P/L	118.48	123.70	131.96	+13.48	+11.4%	126.00
	B/S	121.08	129.80	131.58	+1.78	+1.4%	-
人民元	P/L	15.17	15.67	16.96	+1.79	+11.8%	16.67
	B/S	15.23	16.84	17.11	+0.27	+1.6%	-

・P/Lは前年同期を、B/Sは前年度期末（2020年度末）を比較

・2021年度 1Qのブラマーに適用した為替レート(\$)は、P/L 107.71、B/S 107.94

1-1 : 2021年度 連結決算実績 1Q(3ヶ月)

(単位：億円)

	FY2020 1Q実績	FY2021 1Q実績	前年同期比 増減額	増減要因(対前年同期比較)
売上高				
植物性油脂	223	290	+67	原料価格上昇を受けた販売価格の上昇、販売数量の増加により増収。
業務用チョコレート	353	417	+63	全エリアで販売数量の増加により増収。
乳化・発酵素材	166	190	+23	日本のトーラクの譲渡による減収要因はあったが、全エリアでの販売数量の増加により増収。
大豆加工素材	84	90	+6	大豆たん白素材を中心とした販売数量の増加により増収。
合計	827	987	+160	
営業利益				
植物性油脂	18	21	+2	原料価格上昇や米州新工場の費用増の影響（▲1億円）はあるものの、欧州の販売数量の増加を主因に増益。
業務用チョコレート	20	11	▲9	販売数量増加による増益要因はあったが、前年度のブラマーのカカオ先物益（+13億円）の剥落により減益。
乳化・発酵素材	1	7	+6	東南アジアは固定費の上昇により減益となったが、日本の増収を主因に増益。
大豆加工素材	13	11	▲1	中国の機能剤の販売数量の減少、日本・欧州の新工場等の経費の増加等により減益。
グループ管理費用	▲9	▲9	+0	
合計	43	41	▲1	
営業利益率	5.2%	4.2%	▲1.0pt	
経常利益	38	37	▲1	
四半期純利益	28	35	+7	固定資産売却益の計上等により増加。

● 決算概要

売上高は、油脂セグメントでは販売価格の上昇により、その他のセグメントでは主に販売数量の増加により増収になりました。
営業利益は、販売数量の増加を中心とした増益要因はあったものの、前期のカカオ先物益（+13億円）の剥落により減益になりました。

● 特記事項

・上記業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。
・2021年度から大豆加工素材事業の豆乳およびUSS豆乳製品は、乳化・発酵素材事業に振り替えたことから、2020年度を遡及修正して表示しております。

1-2 : 2021年度 連結業績 (1Q/事業別・所在地別マトリクス)

(単位:百万円)

売上高	年度※	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2021 1Q	9,569	+1,236	9,053	+2,055	4,711	+1,139	743	+153	4,959	+2,139	29,037	+6,722
	FY2020 1Q	8,333	-	6,998	-	3,572	-	590	-	2,820	-	22,315	-
	FY2019 (4-6月)	8,387	-	6,857	-	4,086	-	841	-	3,561	-	23,734	-
業務用チョコレート	FY2021 1Q	8,907	+1,414	27,819	+3,412	2,673	+689	1,156	+350	1,111	+463	41,668	+6,328
	FY2020 1Q	7,493	-	24,407	-	1,984	-	806	-	648	-	35,340	-
	FY2019 (4-6月)	8,495	-	26,071	-	2,845	-	573	-	888	-	38,874	-
乳化・発酵素材	FY2021 1Q	12,411	+433	-	-	2,751	+707	3,789	+1,181	-	-	18,953	+2,322
	FY2020 1Q	11,978	-	-	-	2,044	-	2,608	-	-	-	16,631	-
	FY2019 (4-6月)	15,315	-	-	-	2,509	-	2,821	-	-	-	20,646	-
大豆加工素材	FY2021 1Q	8,502	+593	-	-	-	-	516	+47	-	-	9,019	+640
	FY2020 1Q	7,909	-	-	-	-	-	469	-	-	-	8,379	-
	FY2019 (4-6月)	7,748	-	-	-	-	-	576	-	-	-	8,324	-
売上高計	FY2021 1Q	39,391	+3,676	36,873	+5,468	10,136	+2,534	6,207	+1,732	6,071	+2,603	98,679	+16,012
	FY2020 1Q	35,715	-	31,405	-	7,602	-	4,475	-	3,468	-	82,667	-
	FY2019 (4-6月)	39,947	-	32,929	-	9,441	-	4,811	-	4,449	-	91,579	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益	年度※	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2021 1Q	848	+0	560	+50	299	▲247	▲17	▲41	149	+246	227	+227	-	-	2,069	+237
	FY2020 1Q	848	-	510	-	546	-	24	-	▲97	-	-	-	-	-	1,832	-
	FY2019 (4-6月)	812	-	673	-	231	-	18	-	179	-	186	-	-	-	2,102	-
業務用チョコレート	FY2021 1Q	1,397	+414	▲292	▲1,351	15	+50	▲20	+88	22	▲51	12	▲5	-	-	1,134	▲855
	FY2020 1Q	983	-	1,059	-	▲35	-	▲108	-	73	-	17	-	-	-	1,989	-
	FY2019 (4-6月)	1,356	-	▲1,434	-	284	-	37	-	93	-	2	-	-	-	340	-
乳化・発酵素材	FY2021 1Q	432	+559	-	-	▲211	▲123	252	+91	-	-	191	+50	-	-	664	+577
	FY2020 1Q	▲127	-	-	-	▲88	-	161	-	-	-	141	-	-	-	87	-
	FY2019 (4-6月)	613	-	-	-	164	-	339	-	-	-	135	-	-	-	1,253	-
大豆加工素材	FY2021 1Q	1,064	▲63	-	-	-	-	98	▲115	▲60	▲35	17	+82	-	-	1,120	▲130
	FY2020 1Q	1,127	-	-	-	-	-	213	-	▲25	-	▲65	-	-	-	1,250	-
	FY2019 (4-6月)	932	-	-	-	-	-	139	-	-	-	▲1	-	-	-	1,071	-
連結調整	FY2021 1Q	39	+16	▲7	▲4	▲1	+13	18	+21	32	▲19	▲82	▲29	-	-	-	-
	FY2020 1Q	23	-	▲3	-	▲14	-	▲3	-	51	-	▲53	-	-	-	-	-
	FY2019 (4-6月)	28	-	6	-	2	-	37	-	-	-	▲74	-	-	-	-	-
グループ管理費用	FY2021 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲870	+24	▲870	+24
	FY2020 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲894	-	▲894	-
	FY2019 (4-6月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲851	-	▲851	-
営業利益計	FY2021 1Q	3,782	+927	263	▲1,303	102	▲305	331	+43	143	+142	366	+326	▲870	+24	4,118	▲147
	FY2020 1Q	2,855	-	1,566	-	407	-	288	-	1	-	40	-	▲894	-	4,265	-
	FY2019 (4-6月)	3,743	-	▲753	-	682	-	572	-	273	-	249	-	▲851	-	3,914	-

※「FY2019 (4-6月)」は、2019年4-6月の各社決算数値を参考値として記載しています。(ブラマー、豪州IFSを除く)

※2021年度より、大豆加工素材事業の豆乳およびUSS豆乳製品は、乳化・発酵素材事業に振り替えて表示しています。その為、2020年度及び2019年度の数値を参考値として遡及修正して表示しています。

2-1:主な指標

大項目	項目	単位	備考	2018	2019 15ヶ月決算	2020	2020	2021(累計実績)				2021
							1Q	1Q	2Q	3Q	4Q	予想
PL項目	営業利益	億円		185	236	179	43	41				180
	営業利益成長率	%		▲9.5%	* ¹	* ¹	+6.1%	▲3.4%				0.5%
	EBITDA	* ² 億円		312	415	343	83	83				359
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	159	180	208	45	39				220
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	110	130	118	29	30				130
	ROA	%	経常利益÷総資産 (期首と期末の平均値)	5.5%	5.9%	4.8%	4.2%	4.1%				4.7%
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率 ×財務レバレッジ	7.3%	10.5%	7.0%	7.3%	8.7%				7.0%
	売上高純利益率	%	当期純利益÷売上高	3.8%	3.9%	3.0%	3.4%	3.6%				-
	総資産回転率* ⁴	回	売上高÷総資産	0.77	1.13	1.02	0.91	1.09				-
	財務レバレッジ	倍	総資産÷自己資本	2.5	2.4	2.2	2.4	2.2				-
ROIC	%	営業利益×(1-法人税率) ÷(期末株主資本+有利子負債)	4.0%	5.1%	4.0%	3.7%	3.7%				-	
BS項目	総資産	億円		3,905	3,674	3,585	3,615	3,640				3,612
	有利子負債	億円		1,605	1,462	1,313	1,502	1,335				1,263
	NET有利子負債	億円		1,392	1,276	1,108	1,277	1,149				1,050
	NET運転資本	億円		171	632	697	661	716				700
	自己資本比率	%		40.1%	42.3%	44.6%	42.5%	45.8%				46.2%
	負債比率	%		147.9%	134.7%	122.2%	133.8%	116.8%				114.3%
	のれん(広義)	億円	のれん(広義)とは、のれんに加え、商標権、 その他無形固定資産等を含んだもの	605	527	466	504	487				435
	のれん償却額	億円		7	24	21	5	5				21
	のれん(広義)純資産比率	%		38%	33%	29%	32%	29%				26%
	D/Eレシオ	倍	有利子負債÷自己資本	1.0	0.9	0.8	1.0	0.8				0.7
Net D/Eレシオ	倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金) ÷株主資本	0.9	0.7	0.6	0.7	0.6				0.6	
CF項目	営業キャッシュフロー	億円		226	371	382	70	32				320
	投資キャッシュフロー	億円		▲791	▲183	▲174	▲48	▲45				▲220
	フリーキャッシュフロー	億円		▲565	188	208	22	▲14				100
	財務キャッシュフロー	億円		655	▲207	▲199	14	▲9				▲95
	CCC	日	2018年度のCCCはプラマ-を除く。 2019年度は15ヶ月決算を12ヶ月に換算し算出	105	113	107	128	103				103

*¹ FY2019、2020の営業利益成長率は、FY2019が15ヶ月決算の為、表示していません。

*² 過年度のEBITDAは遡及修正した値を記載しています。

*³ FY2020.1QとFY2021.1QのROA、ROE、ROICについては、年間換算した参考値を記載しています。

*⁴ 年度は期末総資産、四半期は期首と期末の平均値の総資産を用いて算出しています。

※補足：主な設備投資

年度	主な投資項目	億円
2021 1Q	米州 油脂 新拠点設立	2
	米州 プラマ-設備投資	4
	米州 ハラルド新工場・設備投資など	2
	欧州 水溶性えんどう糖類の新工場設立	8
	計	39
2021 計画	米州 油脂 新拠点設立	11
	米州 プラマ-設備投資	42
	米州 ハラルド新工場・設備投資など	25
	中国 生産ライン拡張	23
	計	220

株主還元

株主還元方針

- ・配当性向30-40%
- ・安定かつ継続的な配当の実施

1株当たりの配当金の推移 (単位：円)

年度	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2013	13	13	26	27.4%
2014	13	17	30	27.6%
2015	17	18	35	32.6%
2016	22	22	44	31.2%
2017	23	25	48	30.0%
2018	25	25	50	37.1%
2019	27	29	56	29.4%
2020	26	26	52	40.6%
2021 予想	26	26	52	38.9%

3-1 : 2021年度 連結業績予想

- ・2021年上期業績予想に対する進捗率は営業利益で59%、当期純利益で79%となっておりますが、原料相場の動向、新型コロナウイルスの今後の影響を考慮し、2021年5月11日発表の業績予想を据え置いております。

(単位：億円)

	FY2021 Q1 実績	FY2021 上期 業績予想	FY2021上期 進捗率
売上高	987	1,900	52%
営業利益	41	70	59%
経常利益	37	63	59%
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	45	79%

FY2021通期 業績予想	FY2021通期 進捗率
4,000	25%
180	23%
168	22%
115	31%